

2022年度 前学期
文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定
「保育・子育て支援ラーニングプログラム」 シラバス
(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)

【前学期】

基礎科目：保育デザイン論 A/B

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL 事務局 nyuyoji-reply@cc.ocha.ac.jp

保育デザイン論 A/B

日程：A：8月25日（木）、27日（土）

B：9月8日（木）、10日（土）

木曜日：18:30～20:30、土曜日：13:00～17:20

「保育デザイン論」は全4回、Zoomによるオンライン授業で行います。

※前半2回（A）だけの受講はできますが、後半2回（B）のみの受講はできません。

※2020年度後学期以降にBP登録し、履修証明書取得を考えている方は、両方とも受講してください（BP基礎科目：12時間）。

担当：刑部 育子（お茶の水女子大学 教授）

主題と目標

保育デザインという新しい考え方について実践的に学ぶ。また、保育実践を可視化するドキュメンテーションについて、国内外のドキュメンテーションを参考にしながら、実際に保育実践のドキュメンテーションをデザインする。作成されたドキュメンテーションは授業で共有し、参加者で振り返りを行い、次の保育のデザインに活かすことを目指す。

教科書・参考図書

授業進行に必要なプリントやレジュメを適宜配布する。

評価方法・評価割合

課題=40%、発表=30%、授業への参加態度=30%

授業計画

【保育デザイン論A】：講義編

① 保育デザイン論とは

②-1 ドキュメンテーションとは何か

②-2 ドキュメンテーションの実際

◇ゲストティーチャー：栗原 啓祥 先生（認定こども園清心幼稚園副園長、玉川大学非常勤講師）

【保育デザイン論B】：実践編

② 子どもの声を100の言語で聴く

④-1 参加者のドキュメンテーションを共有する

④-2 参加者間の振り返り

時間外学習

ドキュメンテーションの作成を各自で行う。

学生へのメッセージ

保育が専門でない異分野の人たちの参加も歓迎します。多様な視点からの保育の気づきや発見を出来事として可視化し、共有していただきたいと思います。保育の経験者にとっては新たな視点で保育実践を見直す機会になり、明日の保育が楽しみなるような学びになればと思います。